

一貫したトータル生産システムで様々な高品質パーツを提供

株式会社北田金属工業所 奈良県生駒市

高品質・高精度な自動車部品等を、試作・開発から量産化までの一貫した生産体制でスピーディーに提供する会社が「株式会社北田金属工業所」である。同社は、平成15年1月、第2工場を設立・操業させ、生産性及び品質の一層の向上をめざすとともに、アッセンブリ化を促進し、製品の付加価値向上に努めている。

業界全体が厳しい状況にあるなか、同社は取引先からの信頼も厚く、着実に事業の拡大・充実を図ってきている。

会社概要



会社名：株式会社北田金属工業所
所在地：奈良県生駒市北田原町 1624-4
(北田原工業団地内)
電話：0743-72-6700(代)
FAX：0743-71-1008
設立：昭和43年(創業：昭和38年)
代表者：代表取締役社長 北田 康博
資本金：1,000万円
従業員：60名
事業：自動車・農機具・弱電・照明器具・ガス関係の諸部品の製作及び組み立て自動車部品溶接部門、その他のプレス加工及び組み立て試作金型の設計・製作・組み立て



本社工場

自動車部品を主力として業績伸展を続ける

生駒市の北田原工業団地の一角に、様々な高品質パーツを試作・開発から量産化までの一貫した生産体制でスピーディーに提供する「株式会社北田金属工業所」がある。

同社は、昭和38年9月、森 務会長と、金属関係の工場で金型技術を培ってきた、現社長の父(会長の兄)とが共に独立し、大阪市城東区に個人企業として創業。金型技術を活かしてマシン部品の製作からスタートし、43年に法人化した。以後、自動車部品の製作を開始し、今では自動車部品が売上全体の9割を占めている。一方で多角化への対応として、精密機械や農機具、照明器具関係の諸部品の製作及び組立なども手掛けている。

大手企業による、海外からの部品調達の拡大や外注先の絞込みが進むなど、業界全体が厳しい状況にあるなかにあって、平成10年8月に生駒市北田原町に新工場を開設して以降も、同社は着実に事業の拡大・充実を図ってきている。

取引先からの信頼が厚い、高品質・高精度な製品

同社は、最新のコンピュータシステムを駆使し、試作から金型の設計・製作、板金プレス加工、溶接組立まで一貫した生産ラインを確立して、取引先の要望に迅速かつ確実に対応できる体制を整えている。プレス加工では、標準から薄物まで(0.05mm~12.0mm)幅広い板厚への加工能力がある、最新鋭の400tプレスを導入している。大小各種の自動プレスマシンも合わせ、金型の持つ精度をそのまま製品に反映できる、高度な製品プレスラインを整備している。

同社の取扱製品は、自動車部品の中でもハンドル・ステアリングなど、人命にかかわる部分が多く、ミスが許されない。高品質の製品を提供で

きるよう、万能試験機で納品前の製品を細かくチェックした後、人の目や手でも直接チェックを行っている。製品はロット管理し、出荷までの履歴などを一貫してデータベース化している。

同社の高品質・高精度な製品とミスのない仕事には定評があり、既存取引先から別の取引先の紹介を受けるなど、その実力の高さがうかがえる。

短納期化とコスト削減にも注力

同社では、営業担当者が取引先から聞いてきた情報を技術課へ直接伝達するなど、取引先ニーズへの対応を速めている。また、設計・製作に高精度な3次元レーザー加工機を使用することにより、量産にあった形状で試作品作り、試作金型作りを行うことができ、製品のスピーディーな納期設定を可能としている。

更に、取引先の端末から在庫確認と出荷指示がタイムリーに処理される「出荷オンラインシステム」を導入しており、より迅速に、より正確に出荷・ストックの確認作業が行え、緊急オーダーにも対応できる体制を整えている。

一方、省力化・合理化の自主目標を掲げてコスト削減に積極的に取り組んでいるほか、金型の改良やアッセンブリ（複数のパーツが組み合わさった集合パーツ）の推進により、取引先でのコス

ト削減に向けた提案営業にも取り組んでいる。

北田社長は「コスト削減に取り組むとともに、短納期化や見積書提出の早期化など業務のスピードアップに努めています。試作品の提供では、他社が通常20～30日程要するところを、当社は3～7日で提供できます」と、自信を持って語る。



第2工場

更なる飛躍をめざして

平成14年には「北田スクール」を計6回開催し、各部署のリーダー格が他部署のメンバーに対して、各業務内容等を指導し、社内の人材育成や相互理解の促進に努めている。

平成15年1月、生産性及び品質の一層の向上をめざして、本社工場の近くに第2工場（北田原町2442-10）を設立・操業させ、技術課も新設した。第2工場では、最新の精密機械板金設備に、スポット溶接、溶接ロボット等を組み合わせている。

製品のアッセンブリ化を図り、製品の付加価値向上に努めている。また、同年11月には、ISO9001の認証取得を目指して、キックオフ（認証する為の活動をスタートさせる日）を宣言した。

北田社長は「プライドは持ちながらも、何に対しても謙虚にとらまえて、物事に対処していけば、相手に必ず認めてもらえる」と信じています。企業も全く同じと考えています」という。

社長のこの真摯な取組み姿勢と全社員の結束、同社の高い技術力・提案力などがある限り、同社の更なる成長が期待できる。（島田、井阪）



各種製品



ロボット溶接



最新鋭の400t プレス